



伸びよう阿曽っ子



5月品格目標：責任

資源回収 ありがとうございます

5月12日(日)、小雨が降る中、資源回収にご協力いただきましてありがとうございました。特にPTA役員さんにおかれましては、資源ごみの回収や学校での資源ごみの受け渡しをしていただきました。おかげさまで、今回もたくさんの資源ごみを回収することができました。収益金は、子ども達の教育活動やPTA活動の充実のために使わせていただきたいと思います。どうぞ今後ともよろしくお願いいたします。



ありがとう やさい先生

2年生の生活科で野菜を植えました。地域の野菜先生がたくさん集まってくださり、子ども達に丁寧に教えてくださいました。地域のみなさんにやさしく声をかけていただきながら野菜の苗を植えたり支柱を立てたりしました。肥料がたっぷり入ったふかふかの土で夏の太陽の光を浴び、野菜がぐんぐん大きくなっていくことと思います。また、やさしい地域の方々とのふれあいは、子ども達の心の栄養となり、心豊かな阿曽っ子を育ててくれるものと信じております。地域のみなさん、ありがとうございます！



3年生が植えたハッカも大きくなっています。



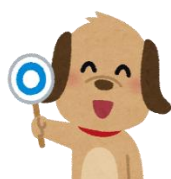
スマートフォンについて

5月11日(土)の山陽新聞にデジタル機器に関する記事が掲載されていました。滴一滴では、「脳科学者の茂木健一郎さんが「スマートフォンやパソコンが身近になった。入ってくる情報量が多すぎて脳の処理が追い付かないため、疲労がたまり、体全体に影響が出ている。」と記していました。家でのおんびり休日を過ごしたのに、体がだるくなったのはスマホを使い過ぎたためか、と。また、県健康づくり財団HPでは、「脳の深く考える機能などが使われず、物忘れが増えたり、集中力が低下したりする」と記されているということでした。また、1面記事には、「子どもがスマートフォン・携帯電話を所持している割合が急増しており、学習目的以外で長時間利用する児童生徒が増えてきている。県教委はインターネット依存やトラブルの防止策を強化する構えであり、県教委は家庭のルールがある割合を小学生では65%に引き上げ、適切な利用についての啓発を強めていく」ということが記載されていました。

皆さんのお宅では家庭のルールをお子さんといっしょに作られているでしょうか。デジタル機器を生活から切り離すことは不可能なこの時代。リスクを知ってうまく利用できるようお子さんとお話をしていただければと思います。

家庭のルール例

- ・スマホを使うのは〇時まで
- ・スマホを使うのは親の目が行き届くリビングだけ
- ・食事中にスマホを利用しない
- ・悩みや困ったことがあったら相談する
- ・SNSで個人情報や友達の悪口を書かない
- ・面識のない人とは連絡や連絡先の交換をしない
- ・子供のLINEやメールのメッセージを親が確認する



ファミリーでチャレンジ!!

ご参加いただける場合は、子どもとご家族(何人でも・だれとでも OK)で取り組んでください。そして、クイズや課題の答えを書いた連絡帳を校長室に持って行くようお子さんにお伝えください。取り組んでくれたお子さんには、ごほうびシールをお渡しします。お子さんとご家族で、楽しいひと時をお過ごしください。

問題

- ① 食べると安心するケーキってなーんだ?
- ② お子さんと相談して、メディアの使い方についてお話しいただき、一つルールを決めてください。大切なことは、子どもも納得できるルールにすることです。

※連絡帳に①の答えと決めたルールを書くようお伝えください。